

武士道とフェアプレーの共通点

阿部 瑞希(千葉県千葉市立稲毛第2小学校6年)

福田 暎大(東京都太田区立小池小学校6年)

松岡 愛莉(東京都墨田区立押上小学校5年)

平成31年4月20日(土)、21日(日)

千葉県柏市

公益財団法人吉田記念テニス研修センター

資料

新渡戸稲造 「武士道」

小泉信三 「スポーツが与える三つの宝」

福田雅之助 「規」、「球趣」

佐藤次郎 「マナーキッズ大使海外派遣」と

佐藤次郎

フェアプレー

- ・フェアプレーを常に心がけていることと、他人の気持ちに対する思いやりをもっていることと同じだから。
- ・礼節をもつことと、他人の気持ちを表現すること。
- ・正しくいさぎよく礼節をもって勝負する。
- ・フェアプレーとは正しくいさぎよく礼節を持ち、勝負すること。→勝負を争う中最も痛感させられる。
- ・人類の歴史は、見方によれば不可能を可能にする過程の連続である。→黙々と続ける練習があるから可能なことを増やすことができる。
- ・「たくらまないもの」→他人の気持ちに対する思いやりを目に見える形で表現することである。思いやりを礼で表せ、大事だということ。
- ・「ぎ」→サムライにとって裏取引や不正な行いほどいまわしいものはない。

技術

- ・試合は技術だけでなく、体力も含まれている。
- ・勝利は技術だけではとれない。全人格でとるのだ。→コートマナーの良さにつながったのでは？
- ・コートマナーの良さは、外国の人々や新聞で高く評価された。→これがフェアプレーなのでは？
 - 外国の観客の多くが佐藤次郎さんを応援した。
- ・節義と人格はもの事をやる「土台」になっている。
- ・「節義」 たとえるなら人の骨にあたる。骨がなければ首も正しく上にあることを得ず。手で物を取ることもできない。
- ・「勇」 勇猛、勇敢、ごうたん、勇氣、これらは最も容易に少年のたましいに教え、その手本を示すことによって、訓練できるそしつである。

練習

- ・「規」 技を磨き、体力を鍛える
共通 「スポーツが与える三つの宝」練習
- ・「スポーツが与える三つの宝」練習
積み重ね、繰り返し行うこと
- ・不可能を可能にするものが練習である

義

- ・「武士道」 義とは人としてしなければならないことです
正義、義務→正しいこと
- ・人は才能ありても、学問ありても節義なければ、世に立つことを得ず。

友

- ・友は人生の宝。
- ・友はある意味、日光に比すべきものであろう。それは、日の光と同じく心をあたため、心にあるよきものを育ててくれる。もし、スポーツがそのような友を与えるのなら、これを第三の宝にあげることに異存はあり得ない。→信じあえる友、語り合える友、よくライバルになる友がテニスでできるのならば、宝としてあげても反対はないであろう。

守ること

- ・必ず庭球規則を知っておき、規則に従ってプレーするよう努力せよ。→一種のスポーツマンシップなのでは？
- ・コート上でもコート外でも立派なスポーツマン＝日頃からマナーを守り生活しようということ？
- ・きまりを守り、正しい行いをしていること。
- ・マナーキッズ大使と佐藤次郎

約束というのは、何人かの間で成立するもので、一人の身勝手な判断から遅刻したり。休んだりできない。

「弱気を助け、強きを敬う」→外国の強い選手から高度な技術を学んだ。

練習

- ・錬磨によって精神をきたえ、みがくことでできるようになることは、礼法の目的と同じであること。
- ・平生の練習をいつもベストをつくす。

精神

- ・「精神力を養う」と「精神を陶冶する」ことの目的が、人格や才能を育てあげることだから。
- ・一打に全精力を集中せよ。

その他

- ・正しい道からはずれてはいけないようにすること。
- ・外国人に日本人のマナーのよさが伝わっていること。
- ・武士道序文
善悪の観念を吹き込んだのは武士道であった。
- ・武士道「礼」
礼は「長い苦難に耐え、親切で人をむやみにうらやまず、自慢せず、思いあがらない。自己自身の利を求めず、容易に人に動かされず、およそ悪事ということをたくらまない」
- ・初心忘るべからず。
- ・資質は実践や手本により生み出されるものである。
- ・スポーツと武士道から得る心の中の物事の姿が共通しているから。

まとめ

フェアプレーは、正しくいさぎよく礼節をもつことである。

武士道は、他人に対する思いやりを目に見える形で表現したり、不正な行いをしないということである。

このことから共通点は正しい行いをし、他人に対する思いやりをもつ点であると言える。

感想

- ・今回の研修会でフェアプレーと武士道の共通点をさがしました。最初は内容がむずかしくて、分からなかったけど、家族で協力してくれました。また、今回学んだことで、私が一番大切だと思ったのがフェアプレーです。これからはフェアプレーにきをつけたいです。
- ・武士道やフェアプレーの内容は、とてもむずかしかったですがみんなと意見をかわすうちに意見がまとまり、発表できてよかったです。また、今回学んだ武士道の他人への思いやりを日々の生活で心がけたいです。
- ・フェアプレーはマナーであり、学ぶべきである武士道は、マナーの中から知るものであるということが分かりました。今後もマナーを日々心掛けて行動できるようにしたいと思います。

武士道とフェアプレーの共通点

小野 陽菜(千葉県千葉市立稲浜中学校1年)

中田 優 (東京都立小石川中等教育学校1年)

岩佐 拓成(東京都中央区立日本橋中学校1年)

平成31年4月20日(土)、21日(日)

千葉県柏市

公益財団法人吉田記念テニス研修センター

ルール・マナー

- ・マナーを守り、不服な態度を取らないということ。
- ・人として正しい道を守ること。
- ・正しくいさぎよく、礼節をもって勝負する。
- ・ルールを正確に理解し、守る。それを守ろうとすること。

フェア

- ・フェアな心を持ち、自信を持つこと。フェアはずるいことをしないこと。
- ・いさぎよく接することで徳を理解すること。

思いやり

- ・自分の他人に対する思いやりを相手に態度で示すこと。
- ・他人への思いやりの心。
- ・敬う気持ち。見える形で表現する。

文武両道

- ・テニスだけではなく、勉強も頑張る必要があるということ。

友は宝

- ・友達をつくり、親しみ励まし合うということ。
- ・友によりそい、大切にすること。
- ・友は宝である。スポーツによって得た友は特別なものである。¹⁴

練習

- ・実力をつけるまで錬磨すること。
- ・練習は本気で取り組む。
- ・一つ一つこつこつと努力をつみ重ねていくこと。

本気

- ・嫌なことも本気でやる。
- ・全て本気になるということ。

判断

- ・努力する過程での判断。決断は自制心、志をもつこと。

約束

- ・約束を守るということ。
- ・決して遅刻をしないということ。
- ・時間を厳守して決して遅刻をしないようにする。

責任

- ・自分の責任を喜んで果たすこと。
- ・佐藤次郎さんは強い責任感を持ち、国を背負い命をかけて戦っていた。

判断

- ・努力する過程での判断。決断は自制心、志をもつこと。

精神

- ・技術だけでなく、それを練って精神をつくり上げる
こと。

志

- ・志を大切にし、それに向かって実行すること。
- ・志を自分がどの立場に立っても変えないこと。

まとめ

<関わり>

- ・友を大切にする。
- ・人として正しい道を守る。
- ・思いやりをもち、態度で示す。

<自分>

- ・自分の責任を果たす。
- ・志を大切にする。
- ・努力する。

まとめ

人としてあるべきもの→徳

感想

- ・武士道とフェアプレーの共通点について、話し合うと聞いて、この二つに共通点があるのだろうかと思い、討論できるか不安でした。しかし、武士道や3人の方の考え方を知るたび、どんどん共通点がみつかることができ、とても楽しかったし、おどろきました。また、それぞれの意見を話し合い、考えることで、より発展したと考えることができるのだと改めて知ることができてよかったです。これを第一歩としてマナーキッズ大使としての活動を積極的に進むようにしていきたいです。
- ・ぼくは、このフェアプレーと武士道の共通点でたくさんのことを学びました。最初は、フェアプレーと武士道の共通点を見つけられるか不安でしたが、あとになってみると友達と協力してまとめることができました。
- ・私は、この武士道とフェアプレーの紙が届いた時、フェアプレーとは何か分からなくてできるか不安だったけど、何回も読みうちにフェアプレーについて、分かるようになりました。また、今回は約束を守ることなど、人として大切なことを学びました。また、グループで話し合うことで会話力が生まれ、今までの自分より一歩成長したかんじがしました。私はこれからもマナーを身につけ日本がもっと良い国になれるようがんばりたいです。

